

「土地区画整理事業から見た土地改良事業」を読んで

圃場整備事業を担当した際に、土地区画整理事業と排水先や残土（農地表土）受け入れ調整を行った経験があり、同じ区画整理事業で共同減歩等もありながら、農地と宅地等の整備で性質の違う事業であるという印象を持っていました。土地改良法の制定時にGHQの意向により組合設立が認められなかったことは興味深かったです。また、事業合意要件に係る三条資格者の人数緩和と面積要件追加及び圃場内宅地対策等は、現状に合致した提言と思いました。

宮城県 50代男性 地方公務員

「食料・エネルギーの地産地消に貢献する」を拝読させていただきました。

日本は国土の7割を森林が占め、その活用がうまくいけば、日本のエネルギー自給率の向上、地方の産業の活性化などの課題解決に大きく貢献できることから、森林を抱える地域では行政や森林組合等で同様の取組に挑戦している方々がいます。しかし、記事にもありました課題を抱え、採算や運営にご苦労されているとお聞きます。今般の建設会社など多様な方々がスクラムを組んで、持続可能なバイオマス発電のモデルケースを構築いただき、面的に広がることを期待しています

岩手県 60代男性 会社員

「新人技術者から見た現場」

久しぶりに「土地改良」誌を拝読する機会があり、「新人技術者から見た現場」に興味を惹かれました。このような寄稿の企画は過去にもあったのでしょうか。ちょっと記憶にありません。気付いていなかったのであれば申し訳ありません。建設会社の新人職員が自社の他現場の職員にインタビューする、とはユニークな企画だと思います。インタビュー後の感想で「現場の見方が大きく変化した」と語っておられますが、若手技術者の育成にも貢献する協会の企画を応援しています。

東京都 60代男性 地方公務員

「木質バイオマス発電による地域社会への貢献」を読んで

記事を拝読して、木質バイオマス発電は、未利用資源を活用した地産地消型電源であり、地域の方々の雇用機会の確保や森林の公的機能の維持・向上など、様々な効果が期待できる反面、発電所を安定的に運営していくためには、多くの課題があることもわかりました。事業を長期的に継続するためには、企業のご努力は大変なものだと推察しますが、ぜひこの先進的な取組を成功事例としていただき、同様の取組が全国に広がっていくことを期待します。

東京都 60代男性 団体職員

RN建設	38, 42, 52, 56, 73
アイサフ工業(株)	38, 42, 52, 56
青木あすなろ建設(株)	38, 40, 42, 52, 56
あおみ建設(株)	38, 42, 52, 56
(株)浅沼組	38, 42
(株)新井組	38, 42
(株)安藤・間	38, 41, 42, 56
岩田地崎建設(株)	38, 42, 52, 56
(株)大林組	38, 42, 52, 56
(株)大本組	38, 42
(株)奥村組	7, 22, 29, 38, 42, 52, 56
鹿島建設(株)	3, 38, 42, 56
株木建設(株)	38, 39, 40, 42, 56
(株)クボタ	38, 42, 56
(株)熊谷組	7, 38, 42, 52, 56, 62, 63
(株)鴻地組	38, 42, 56
五洋建設(株)	38
佐藤工業(株)	38, 42, 52
清水建設(株)	38, 42, 52, 56
大成建設(株)	38, 42
大日本土木(株)	38, 42
大豊建設(株)	38, 42
(株)竹中土木	38, 42, 52, 53, 56
TSUCHIYA(株)	38, 52
鉄建建設(株)	38, 42, 56
東急建設(株)	38, 42, 56
東洋建設(株)	38, 42, 52, 56
戸田建設(株)	2, 38, 42, 56
飛鳥建設(株)	38, 42, 56, 63, 70
西松建設(株)	38, 42, 52, 56
日東河川工業(株)	38, 42, 56
日特建設(株)	34, 38, 42, 56
日本基礎技術(株)	38, 42
日本国土開発(株)	38, 42
ピーエス・コンストラクション(株)	38
(株)フジタ	38, 42, 52, 56
(株)北陽	38, 42, 56
(株)本間組	38, 42
前田建設工業(株)	7, 38, 42, 52, 56
松尾建設(株)	38, 56
三井住友建設(株)	6, 38, 42, 56, 67
みらい建設工業(株)	38, 42, 56
ライト工業(株)	38, 42, 52
若築建設(株)	38, 42, 52, 56

＼ 本誌「土地改良」へのご意見、ご感想をお待ちしております。 /

官製はがき又はメールにて、本号の記事の中で面白かったもの、興味深かったものを5点以内で順に表題名をお書きいただくとともに、ご意見、ご感想を200字程度でおまとめ下さい。また、住所、氏名、性別、年齢、職業、勤務先、電話番号をお書き下さい（掲載の際には、都道府県名、性別、年齢、職業までを表記させていただきます。また、文意を変えない範囲で、当方の判断で文章の量を調整させていただきます）。

ご感想等を掲載させていただいた方には、毎回もれなく全国各地の名品を贈らせていただきます。次回掲載分については、「日本三大和牛 米沢牛の切り落とし 600g」をご用意しております。[5月末日締切]



宛て先

〒105-0004 港区新橋5-34-4 土地改良建設協会 「くろすおーばー」 係  
メールアドレス jigyo@dokaikyo.or.jp

土地改良

第333号

令和8年4月15日 発行

編集者／発行所

一般社団法人 土地改良建設協会

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目34-4

農業土木会館

TEL 03-3434-5961

FAX 03-3434-1006

http://www.dokaikyo.or.jp/



インタビュー及び取材記事等は編集を加えており、文責は当協会にあります。また、農林水産省職員の記事の内容や意見は、執筆者個人に属し、同省の公式見解を示すものではありません。

デザイン・印刷 株式会社ひとみ

本誌からの許可無き転載・複製を禁じます。